

江東区ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合

児童生徒が使用するネットワークの通信速度帯域については、令和6年4月に文部科学省より発出された「学校のネットワークの現状について」において、児童生徒数に基づき推奨帯域が示されているが、江東区においてはGIGAスクール構想の1人1台端末の整備とあわせ整備した1Gbps ベストエフォート型回線（※1）のネットワークを使用しているものの、ネットワークアセスメント（回線の速度測定）において、最大速度（ダウンロード）が260Mbpsとなっており、現時点で推奨帯域の確保ができていない状況である。

（※1） 1Gbps ベストエフォート型回線：

Gbps はインターネットの通信速度を表す単位であり、1Gbps ベストエフォート型回線は、条件がすべて揃った場合に最大通信速度1Gbps（1秒間に1ギガビット）のデータを伝送できる光回線サービスであるが、最大通信速度は理論値のため、通信環境や回線の混雑状況により通信速度が変動する。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定

ネットワークアセスメントについてはネットワーク機器の構成・設定、施工会社、機器の整備時期が共通している場合は、全ての学校に求められるものではないことから、児童生徒数が多い小・中学校において下記のとおり実施し、ネットワークの遅延や帯域幅のボトルネック箇所は無いものの、以下の課題を確認した。

① 実施日時及び実施場所

令和6年10月21日 豊洲西小学校

令和6年10月28日 深川第三中学校

② 課題特定

有線 LAN 調査：ネットワーク機器はCPU、メモリ使用率ともに、改善の目安である80%を継続的に下回っていることから課題は無い。

無線 LAN 調査：体育館内の場所によって電波強度が弱い。

（2）課題の解決の方法と実施スケジュール

令和8年度に全校において校内ネットワークを更改する際に、通信契約を1Gbps ベストエフォートから10Gbps ベストエフォートへ増強を図り推奨帯域の基準を達成する。